



# 金沢経済大学同窓会誌

# まな

## 第9号

1998. 10.

発行所/金沢経済大学同窓会事務局  
〒920-0813 石川県金沢市御所町丑10

事務局 TEL・FAX(076)251-9876

大学 TEL(076)253-3924

発行責任者:中田邦雄 編集発行人:菅村洋一

同窓会会員 現在10,946名

## 「誠実にして社会に役立つ人間の育成」

故稲置繁男初代理事長の意志をうけて一九九四年より工事の行われていた金沢経済大学新キャンパス建設工事は、昨年十二月に全館竣工の日を迎えました。

また、かねてより「稲置学園創始者故稲置繁男先生顕彰事業実行委員会」によって準備されてきた初代理事長稲置繁男先生の銅像もこの度完成し、金沢経済大学第二期工事で整備された中庭に建立されました。

これも、ひとえに同窓生諸氏のご支援のたまものです。



中庭で学園を見守る稲置繁男初代理事長の銅像  
と同窓会会長中田邦雄 (1997.12.12 式典終了後)

同窓会会長年間職務日誌

月日	行事名	場所
H9.5/20	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
5/24	同窓会常任理事会	ホリデイ・イン金沢
5/25	同窓会ゴルフコンペ	白山カントリークラブ
6/7	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
6/28	同窓会理事会・総会	金沢東急ホテル
7/24	稲置繁男先生顕彰事業実行委員会	金沢経済大学会議室
8/2	同窓会三役会議	金沢東急ホテルロビー
10/4	金沢経済大学大学祭	金沢経済大学キャンパス
10/7	岐阜経済大学キャンパス見学	岐阜経済大学キャンパス
10/11	北陸大学学園祭見学	北陸大学キャンパス
10/12	金沢工業大学大学祭見学	金沢工業大学キャンパス
10/18	金沢学院大学大学祭見学	金沢学院大学キャンパス
11/1	金沢大学大学祭見学	金沢大学キャンパス
11/6	稲置学園評議員会	金城楼
11/22	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
12/12	大学新学舎竣工式 稲置繁男先生銅像除幕式 稲置学園65周年記念パーティー	金沢経済大学新体育館 金沢経済大学中庭 金沢全日空ホテル
H10.1/1	理事長新年ご挨拶	理事長宅
1/31	稲置学園同窓会(大学・短大・高校)	金沢スカイホテル
2/10	立教大学キャンパス見学	立教大学キャンパス
2/19	稲置繁男先生顕彰事業実行委員会	金沢シティモントホテル
3/6	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
3/13	金沢経済大学卒業記念パーティー	金沢全日空ホテル
3/14	金沢経済大学卒業式	稲置記念館講堂

金沢経済大学OBゴルフ同好会  
第11回コンペ結果報告

平成10年6月7日(日)開催:14名参加  
白山カントリークラブ(松風コース)

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	H. CP	NET
優勝	紺谷 澄夫	47	45	92	27	65
2	米田 正博	42	42	84	18	66
3	木村 宗久	41	40	81	15	66

金沢経済大学OBゴルフ同好会  
第12回コンペ結果報告

平成10年10月10日(土)開催:15名参加  
白山カントリークラブ(松風コース)

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	H. CP	NET
優勝	野呂 秀春	54	48	102	36	66
2	島 久雄	44	46	90	18	72
3	新木 知彦	52	46	98	26	72



同窓会事務局だよ!

◆皆様のお世話役です◆

近年の課題となっていた支部づくりに向けた具体的な動きがようやく始まりました。支部のお世話をされる方々のご苦労は大変なものだと思いますが、会長並びに副会長のご判断を仰ぎながら、事務局として精一杯のご支援を心がけたと思います。

九月の関西支部設立準備会に続いて、十月には加賀、十一月には東京、中部(名古屋)にと、設立準備会が開催される予定になっています。

同窓会設立27年の歳月は、皆様にとっていよいよ大切な貴重な時間を意味するようになってきたのではないのでしょうか。日々活躍される皆様にとって、人脈としての同窓生の存在がますます大きくなってくるように思われます。

ささやかながら、事務処理に関してのご連絡をいただければ、小さなことでも適切に処理することを心がけて、皆様のお世話役を努めてまいります。

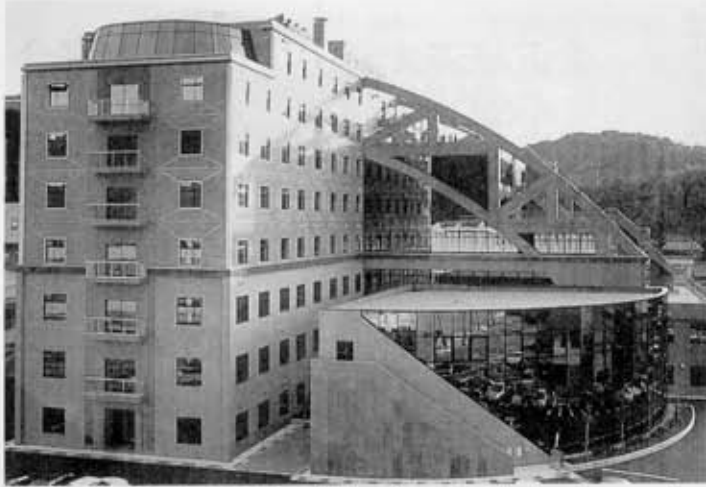
編集後記

経済のグローバル化が、規制緩和によって日本にやってきた。第二の開国と云われるような事態があちこちで耳にする。対応に追われる間もなく、日本経済は、バブル崩壊以来の景気の低迷を、出口の見えないままに深める結果となっている。

総てがマイナス思考に凝り固まりつつあって、予測できない未来をも暗く不安げに眺めるような日常を演出し、自分で自分の首を絞めるような愚挙に出始めているのではないか、と思えてしまう。

明るい話題の少ない中、同窓会の支部づくりの本格化は、同窓会によるネットワーク化や人脈開拓の可能性を示唆しています。互いの人生の中での出会いを再度確認したり、情報交換の場を広げることが、これからますます大切になってくることを意識すべき時です。

「きずな」第九号をお届けします。情報のネットワーク化は、皆様のご意見が生かされてこそ、ではないでしょうか。お手持ちの情報をどしどしお寄せください。



↑本館：都市型環境を有効に生かす8階建てキャンパス



←食堂棟  
1階 Les Pages  
2階 Avanzar



↑中庭：旧体育館跡に新しく造成された中庭

平成9年度同窓会決算書  
平成9年4月1日～平成10年3月31日

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	3,564,330	事業費	881,288
入会金	4,940,000	人件費	528,450
受取利息	200,831	通信費	1,030,160
雑収入	546,989	消耗費	185,413
		在校生補助	730,000
		慶弔費	0
		理事会運営費	0
		總會費	491,758
		広告費	399,650
		同窓会館積立	192,917
		顕彰事業寄付金	1,000,000
		予備費	0
		次期繰越高	3,812,514
<b>合計</b>	<b>9,252,150</b>	<b>合計</b>	<b>9,252,150</b>

【特別会計 同窓会館積立金】……26,197,940円

平成10年度同窓会予算書  
平成10年4月1日～平成11年3月31日

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
終身会費	5,420,000	事業費	900,000
受取利息	200,000	人件費	550,000
雑収入	100,000	通信費	1,100,000
		消耗費	200,000
		在校生補助	750,000
		慶弔費	200,000
		理事会費	500,000
		支部結成費	500,000
		広告費	100,000
		同窓会館積立	190,000
		予備費	100,000
		次期繰越高	630,000
<b>合計</b>	<b>5,720,000</b>	<b>合計</b>	<b>5,720,000</b>

【前期繰越金】……3,812,514円

※会計は単年度とし、繰越金は別会計として計上する。

稲置学園創立六十五周年記念・金沢経済大学新学舎落成記念・故稲置繁男初代理事長銅像除幕記念パーティー

一九九七年十二月十二日(金)午後六時から、金沢全日空ホテル「鳳の間」にて、「稲置学園創立六十五周年・金沢経済大学新学舎落成記念・故稲置繁男初代理事長銅像除幕記念パーティー」が開催されました。

金沢経済大学同窓会からは、中田邦雄会長、三好研一副会長、鳥居茂副会長、菅村洋一副会長がご招待を受け出席。

稲置美弥子理事長、山村勝郎金沢経済大学学長の挨拶が行われたのち、松川治彦顕彰事業実行委員長による顕彰事業経過報告、石川



県知事代理の杉本勇寿石川県出納長、石川県議会議員長代理の紐野義昭石川県文教公安委員長、金沢市長代理の石原多賀子金沢市教育長らによる来賓祝辞が行われました。

その後、金沢経済大学新学舎建設にご尽力いただいた、シグマデザイン建築設計事務所の安原武彦氏や、浅沼組、戸田建設、安原建設の建設関係者の方々、また、故稲置繁男初代理事長銅像の製作者である清水良治金沢美術工芸大学教授、初代理事長の出身地であり、中庭に梅の記念植樹をいただいた



奈良県月ヶ瀬村の方々に、それぞれ感謝状と記念品が理事長より贈呈されました。

引き続き米沢利久石川県議会議員の乾杯の音頭でパーティーが催され、総勢三百人にのぼる出席者で会場は賑わいをみせ、学園のますますの発展と金沢経済大学の将来の展望についての話題が広がりました。

最後に、加藤晃学校法人金城学園理事長の挨拶に稲置慎也氏が壇上と呼ばれ激励を受けると共に、万歳三唱で記念パーティーはお開きとなりました。

稲置学園創立65周年・金沢経済大学新キャンパス  
故稲置繁男初代理事長銅像除幕記念パーティー



午後の日差しに夏の名残を思わせる九月十二日(土)午後一時半、待ち合わせの金沢駅構内は暑かった。自販機でアイスクリームを買って時間を調節しながら、クリームの融けていく早さが約束の時間に追いつかない。

午後一時五十分、金沢駅発スーパー雷鳥二十六号に中田邦雄同窓会会長と乗り合わせ、一路大阪へ向かった。

さて、同窓会関西支部設立準備会のための顔合わせ会に関西地区世話人のご指名で出席することになったのだが、その相手の顔が浮かばない。なにしろ、二十六年前に学舎を後にして以来の顔合わせであることも然る事ながら、学園生活に疎かったことが思い遣られる。としても、ご指名とのことで時間をやりくりしての出席となったことには、自分なりに意義を感じての大阪行きである。

スーパー雷鳥二十六号は快調に目的地をめざして疾走した。

午後四時三十分、定刻通り大阪駅に到着。土曜日の夕刻とあって、駅構内は混雑しているし、その混雑ぶりは、さすが西の大都市大阪である。ひとしきり感心しながら、中田氏に従って目的の「ホ

テルアクティ大阪」に歩を進める。大阪駅上とあって、さほどの時間もかけずにエレベーターに乗り込み二十七階へ向かう。これがまた絶景、淀川沿いと大阪湾を一望できる展望に目をくらませてしまふ。高層ビル群と、間を縫うように流れる川。大都会の玄関口の大

## 関西支部設立準備会 出席報告

平成10(1998)年9月12日(土)

於：ホテルアクティ大阪27F「多幸梅」

同窓会副会長 菅村洋一

きさに見とれ、会合の約束の場所『多幸梅』なる日本料理店を見つけ中に吸い込まれる。

ちょうど約束の午後五時ジャスト。

「やあー久しぶり振りだなあー」と、確かに旧友の顔があった。

「そう、うん覚えてるよ」と、席

に陣取った諸氏を見て、しばし顔を見合わせる。実に二十六年ぶりの再会であった。



鹿熊悟(一部1期生)、市谷吉郎(一部1期生)、澤田俊一(一部2期生)、佐久間裕(一部2期生)、米崎恵三(一部3期生)、鷹栖哲司(一部3期生)の諸氏が相互連絡にて、支部結成に賛同し本日の会合となった。特に、佐久間裕氏が、中田会長とのパイプ役を担はし、市谷吉郎氏との連携プレーによる連絡網の構築が各期のバランスを生み出したとのことであった。

関西支部の設立には、大阪・京都・滋賀・兵庫・奈良・和歌山の六府県を視野に入れた活動が提案され、同窓生五百数十名が活躍を

しているとの報告をもとに、今後の組織化に向けた連絡体制や会合の持ち方などが話し合われた。

とは云え、二十数年ぶりでの再会が何と言っても話題の中心で、学園時代の思い出話に時を過ぎ、学舎を離れての今日にいたる迄の職場や家族についての話しに時間の過ぎるのも忘れる程に席を暖めていた。

二時間半、つきない話に帰途の時間が迫っていた。

何よりも、金沢の同窓会ではなかなか会う機会のないメンバーとこうして会合を持つことの出来た感激は、忘れられない。同じ時代

を生きていることへの共感と、卒業を機に学園を離れ、その席を県外に移して活躍する同窓生の多くが持つであろう無縁と思われる距離を縮めたこと。まさに、ネットワークの基礎を親た思いがする。それは、何も郷愁を感じ合うことではなく、情報化社会の情報化のための人間的なつながりの大切さ

の証明であり、限られた縁をもととした人としての生き方を物語っているように感じられたことによる感激であった。

午後八時五十二分、サンダーバード四十五号は静かに大阪駅を離れた。佐久間、市谷両氏の見送りを受け、同窓会関西支部設立に向けての確かな手応えを中田会長とともに実感し、その設立に労を惜しまないことや各地での支部づくりに向けての意気込みを強く抱きながら帰途についた。

午後十一時二十一分金沢駅着、今日の成果をみやげにさわやかに家路についた。





平成十年七月十八日(土)午後六時、金沢スカイホテルにおいて、平成十年度同窓会理事会が開催された。昨年度の同窓会会則の一部改正により、理事会を毎年一回開催することに改められての初めての会合として開催。

常任理事を含め四十一名の参加を得、清水実総務委員長の開会のことばに続き、中田邦雄会長の挨拶を経て、会則に基づき中田会長が議長となり議題の審議に入った。

一、支部結成について  
清水総務委員長より、関東・関西・東海・富山・加賀の五地区の支部結成に向けた活動を開始することが提案され承認を受けた。

一、役員選出について  
清水総務委員長より「平成十年度金沢経済大学同窓会役員名簿」に基づいて説明があり、承認されました。

一、平成九年度決算報告及び平成十年度予算(案)について  
田中洋之企画委員(会計)より、

「平成九年度金沢経済大学同窓会決算書」に基づいて報告がなされ、続いて森寿監事より監査報告がなされた。引き続き、「平成十年度金沢経済大学同窓会予算(案)」が提

案され、満場一致で承認された。一、その他について

中田議長より、再度同窓会の支部結成を積極的に推進し、会活動の活発化を図りたいことへの理解を求める発言があり、平成十年度理事会を終了しました。

理事会終了後、午後八時半より、本田学園本部長、山村学長、沢田経済学部長、白川部教務部長、山田学生部長、藤岡図書館長、鉾野人間科学研究所長をご来賓としてお

## 平成十年度 理事会・懇親会開催される



迎えし懇親会が開かれました。

清水総務委員長の開会のことばに続き、中田会長の挨拶、山村学長のご挨拶をいただきました。

学園の新しい構想には、同窓生の多大なご支援が欠かせないこと、特に産業界で活躍される多数の同窓生の金沢経済大学への思いが、在校生にとっての最大の支援であることを強調され乾杯のご発声をお願いしました。

懇親会会場は、新旧の理事が、



同窓会について、また、自分の所属する職場についての話と華が咲き、時の過ぎるのを忘れて語りました。

最後に、沢田経済学部長の近況報告をいただき、本田学園本部長の同窓会の発展、理事各位の健康とご活躍、更には、金沢経済大学のますますの発展を誓っての万歳三唱の音頭で午後八時半、閉会となりました。

## 常任理事会 & 学長・事務局長を囲んで

同窓会常任理事会では、大学の近況と将来の展望についてを同窓生の立場で理解し、同窓会との連携を模索することを目的とした「学長並びに事務局長」との意見交換会を開催しました。

平成九年十一月二十二日(土)、あいにくの雨模様の日、金沢スカイホテルに山村勝郎学長、杉本康夫事務局長をお招きし、十三名の常任理事の出席のもと会は開かれました。



大学の将来に関して、山村学長より、少子化・高齢化の社会の到来による私立各大学間の学生獲得競争が激化すること、規制緩和による大学のビッグバンがあり得ることが最初に上げられ、それを踏まえての稲置学園としての方向性や、取り組むべき課題についてのご意見をいただきました。

大学独自の自主努力を期待することは当然ながら、地域社会の発展を促す分野を視野に入れた新しい学科の創設や、社会人のリカレント教育の設置などに今後の大学としての方向づけがあるこ

と。さらには、環日本海交流を進める立場から、国際的な視野に立つての学術交流の必要性が述べられました。

続いて、杉本事務局長より、従来からの各高校へのアプローチを更に強化し、金沢経済大学のPRにとどまらず、新学舎における特徴あるカリキュラムをバックアップする諸設備への理解を求め、同窓生の活躍を積極的に広報していることが報告されました。

それについては、同窓会の強力な支援体制が必要であり、多くの同窓生が各地域で活躍をしていることを踏まえて、地区単位に支部活動を展開して欲しいとの要望が出されました。

約二時間という短い時間の意見交換ではありましたが、この冬に竣工する新学舎に、多くの有望な学生希望者が集うことを願っての熱意ある新しい大学像を目指す姿勢に、同窓会としても今まで以上のバックアップの必要性を痛感することとなりました。

常任理事会では、今後の課題として在学生との交換会や全国各地で活躍する卒業生の地区単位での

支部活動を推進し、同窓会活動のみならず、金沢経済大学のPR活動の支援、大学外での各教授の講演会への賛助を目指した活動の提案が必要との見解をまとめることとなりました。

高度情報化社会にあって、これからの大学は、学舎内に止まらずの研究活動やカリキュラムでは済

まされません。国際的な交流、国内での地域を越えた交流がその大学の評価となってきます。その評価をより高めるには、同窓生諸君の連帯感、連携が不可欠なのです。交換会を終えて、これからも定期的な意見の交換や情報交換の場が大切であるとの認識で散会となりました。



